



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
チャーター認証日 1989年5月 2日
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
2-18-12, NISIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後5：00
(但し、12月・4月は山中湖センターで土日)
第二例会：翌々週火曜日 午後5：00

2025年1月号ブリテン 第407号

2024-2025年度主題(Thema)

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

会長 御園生 好子
副会長 小山 久恵
書記 大森 裕子
会計 大谷 博愛
直前会長 長津 徹
担当主事 鳩山 徹郎

Our Motto
国際会長
アジア太平洋会長
東日本区理事
あずさ部部長
サンライズ会長

国際標語
シャナヴァスカーン
ジョウン・ウォン
山田 公平
ピーター・マウントフォード
御園生 好子

「共により良い世界を」
「立ち上がろうそして輝こう」 (インド)
「大きなインパクトを起こそう」 (台湾)
「ワイズの方向性を見極める」 (宇都宮)
「めあて望み」 (甲府)
「原点を見つめさらなる発展を」

1月第一例会のお知らせ

1月は11日の在京新年会を第一例会とします。

1月以降の予告

1月11日(土) 在京新年会

1月21日(火) 第二例会

1月のハッピーバースデー

該当者なし

12月例会出席者

9名

(出席率 60%)

事開催できました。サンライズは大森、長津、御園生の3名でその後買い出し、すき焼きパーティを行いました。冷え込むなか灯油ストーブの燃料を使い果たすほど遅くまで盛り上がりました。翌日は朝寝をたっぷりとした後早めの帰途となりました。



山中湖センタークリスマス会報告

長津徹

12月7日、5年ぶりにクリスマスが開催されました。プログラムは従来通りで1時30分に始まり、開会直後にこちらで用意したビデオをプロジェクターで流しました。今回は「靴屋のマルチン」というクリスマス向けのアニメを探し出して用意しました。15分ほどの短い物語ですが、トルストイの作だということです。ゲームタイムやケーキタイムの後にお待ちかねのビンゴ大会です。今回の賞品は諸事情により図書券に落ち着きましたが、やはり盛り上がりは毎年の事となりました。16時にはつつがなく終了し、解散となりました。児童30名付き添い家族が5~6名、スタッフ2名プラスワイズ3名という体制でしたが、付き添いのお母さん達がボランティア的に役割を担ってくれて、無



12月お散歩第二例会・納会報告

大谷博愛

12月19日お散歩第二例会及び納会が行われました。12時に西武池袋線大泉学園駅改札口に集合し、近くのそば屋で昼食を取りながら第二例会を行いました。1月の在京新年会と2月の山手学舎との鍋パーティーの確認をしました。2月の第二例会は切手切りを行うことにしました。最近の郵便事情で切手自体が非常に少なくなったので各自が切り揃えて持参するという考えもありますが、ワイワイガヤガヤ作業することが親睦の意味があるということになりました。

お散歩は駅舎の2階にあるアニメゲートからスタートしました。鉄腕アトム、メーテル(銀河鉄道999)、あしたのジョー、ラム(うる星やつら)のブロンズ像を撫でながら懐かしみました。



その後20分ほど歩いて牧野植物園に行きました。資料館は牧野富太郎博士が残した物が展示されており、庭園は素朴ながらも味わいのあるもので冬の木漏れ日を楽しみました。



そこから納会の会場「三陽寿司」まで歩きました。場所は隣駅保谷の大泉学園寄りということで歩きましたが、あの辺りの道路は元は農道なので素直に真っ直ぐではなく、しかもみんなシニアなので小一時間のウォーキングになりました。道中文句も出ましたが、いい親睦のひと時になりました。

納会の三陽寿司は何度もサンライズは使っているので報告の必要はありませんが、相変わらず美味しい鰻でした。

出席者は江原さん、大森さん、菰渕さん、松本さん、御園生さん、大谷、鳩山担当主事、今村さん(準メンバー)、正村さん(参遊会)の計9名でした。



ひよこのつぶやき vol:261

新年の抱負一言

大谷 博愛

「どこへでも好きなおところに出掛けられるように今の健康を維持することです。」

小山 久恵

「去年までは太ってもどうにか戻してきた体重。去年 1 年は全く減らず、私の人生史上最高を更新しています。間食せずダイエットに励みます。」

松本 ふさ

「健康に気を付けて仕事を頑張ります。」

御園生 好子

「ダイエットします。」

立田 佳明

「世界、日本が温暖化又、災害、戦争が無く平和な世界でありますように。」

柴田 弘子

「健康で穏やかな一年を過ごしたいです。」

鳩山 徹郎

「私事となりますが、12月29日(日)に受洗いたしました。2025年は、キリスト者として生きる初年度となります。主イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神を大切に、YMCAの仕事を通して、また日常生活を通して、見て下っている神様に恥じぬように生きていけるよう心掛けていきたいと思っています。」

泉 文雄

「臥薪嘗胆(がしんしょうたん)ある物事の成功の為、日々困難に耐え努力すること。79歳になりますが未だ仕事に魅力を感じる日々を送っています。」

菰渕光彦

「年こそ、かつてありえなかった全く新しい交流。ツールの導入を目指して研究・実施したい。」

江原 修一

「稀有壮大で小っ恥ずかしいですが、正月(な)ので一言。日本国家にとっては為政以德、個人的には従心「七十にして矩を越えず」

大森 裕子

「人生は一期一会、毎日を悔いなく過ごしたいです。」

長津 徹

「最大の話題は昨年12月1日にケガの治療のはずで行った眼科で緑内障が判り、即手術ということになったことです。手術は無事終わり、12月31日現在では経過は良好なのですが、長い付き合いになる病らしいので新年2025年は何事もなく過ごせたらと祈るばかりです。」

山中湖センターだより

荒木 暁



観測史上最も遅い冠雪となりましたが、雪化粧した富士山の美しい姿が見られるようになりました。気温はますます低く、毎朝マイナス気温スタートの山中湖村です。12/7(土)に5年ぶりにクリスマス会が開催されました。地域の子供たちが30名ほど参加し笑い声が山中湖センターに響き渡りました。やはり子供たちの元気な姿は山中湖センターを活気づけてくれます。参加してくれた子供たちに感謝です。

湖畔に設置していた浮棧橋を撤去しました。ビッグカヌーやローボートで賑わったシーズンが寂しく思えますが、棧橋も一旦休憩してもらいまた活躍の日を心待ちにしたいと思います。

YMCA ニュース

山手センター 鳩山徹郎

★第15回フードパントリー開催～21世帯に食材を無料配布★

12月14日から東陽町センターと江東センターでひとり親家庭と生活にお困りのご家庭 21 家庭に、食材などの無料配布を行いました。今回はクリスマスを前にたくさんのお菓子や美味しいお米、そのほか多くの食材をお配りすることができました。不足したものは、いただいた寄付金で購入させていただきました。次回は3月中旬に実施予定です。



★YMCA の子供たちのための歌「ひかりのうた」誕生★
11月9日、「YMCA こどもの歌お披露目コンサート」が日本基督教団霊南坂教会で開催され、シンガーソングライターの新澤としひこ氏がYMCAのこどもたちのために作詞作曲した『ひかりのうた』が披露されました。東京YMCAの幼稚園、保育園、こども園、アフタースクールのスタッフ約150人が参画したワークショップなどを経て完成した歌で、今後東京YMCAに集う子どもたちのテーマソングとして広く歌われていく予定です。

編集後記

ブリテン1月号をお届けします。皆さま、2025年の幕開けをどのように過ごされたでしょうか？今年の元旦は全国的に青空が広がり、素晴らしい初日の出が拝めたことと思います。今年の干支である巳にあやかって、幸せをいっぱい巻き込んでいきたいものですね。健やかな1年が過ごせますようお祈りいたします。



★ウクライナ避難者等80人、人形劇『てぶくろ』鑑賞★
日本での公的支援が終了・縮小となる中、不安をかかえる避難者たちに楽しいクリスマスをプレゼントしたいと、日本YMCA同盟は12月7日、「人形劇団ポポロ」の観劇会を開催しました。東京YMCA山手センターには約80人が来場し、ウクライナ民話『てぶくろ』の劇を鑑賞しました。

